

## 中小・小規模企業経営安定化対策専門家派遣事業委託業務 取組事例報告書

事業者情報	よみがな	かぶしきがいしゃやまもとうぎょう	所在エリア	札幌市
	事業者名	株式会社山本工業		
	業種	土木業	従業員規模	8人
	事業概要	太陽光発電所のパネル設置工事など		
	活用施策	中小・小規模企業新事業展開・販売促進支援補助金	担当専門家	北村耕司

事例タイトル	<b>コロナ禍に対抗しニーズ高まる除排雪への新規参入事業</b>
取組の概要	新規事業として、近隣住民や法人向けの除排雪事業を新たに展開した。 元々遊休状態にあった小型のホイールローダーを有効活用し、近隣の除排雪事業を開始することで、コロナ禍などの景気低迷等による太陽光発電所工事の受注減を挽回する。

取組事例	
<b>■取組の経緯・背景</b>	
<p>同社はこれまで、道外の太陽光発電パネル設置工事の受注を事業の中心としていた。</p> <p>新型コロナの感染拡大により、当初こそ仕掛業務のため影響は少なかったものの、徐々に全国的な新規受注減が生じるようになり、一時は従業員の雇用維持なども難しくなる可能性があったことから、感染状況の影響を受けにくい新事業への展開が急務となっていた。</p>	
<b>■取組内容（特徴・工夫・進捗など）</b>	
<p>同社は、新型コロナの影響を受けにくい新事業として、除排雪事業への新規参入を選択した。</p> <p>除排雪事業を選択したきっかけは、①2022年冬の札幌市の大雪による交通障害から、今後は除排雪需要が大幅に増加すると予測され、また、②道外の太陽光パネル工事には持って行けず、事務所前で遊休状態の小型ホイールローダーが有効活用できること、の2点でなる。</p> <p>この小型ホイールローダーは、スパイクタイヤ・除排雪用ブレードといったオプションパーツを揃えることで、除排雪用車両に転用可能であり、専門家から情報提供のあった「中小・小規模企業新事業展開・販売促進支援補助金」を活用すれば、事業リスクを最小限にできると判断し、実施に舵を切った。</p> <p>後日、同補助金は無事採択され、宣伝看板の設置や、折込広告などを行い、事業を開始した。</p> <p>なお、23年1月上旬の段階では、売上規模は既に100万円程度に達する見込みであり、補助金で購入したオプションパーツについては、今期中に元が取れる可能性が高い。</p> <p>但し、除排雪事業実現のため、新たに4トントラックも新たに導入したため、今後数年でこちらの投資回収を進めていく予定である。</p>	
<b>■今後に向けて</b>	
<p>今回は小型のホイールローダーのため、走行速度が20kmしかなく、事務所近隣しか商圈にすることができず、まだまだ事業拡大の余地はある。</p> <p>そのため、ホイールローダーの新規導入も進めており、同車両は十分な走行速度が出せるため、より遠方までの除排雪を可能とする。</p> <p>次年度はこれら2台をフル稼働させることで、除排雪事業の売上倍増を図るとともに、土木業者として近隣住民の雪害の悩み解消に一役買いたいと願っている。</p> <p>また、この新規ホイールローダーを除雪専用なのは生産性が低いため、雪のない時期に如何に有効活用を図っていくかが、同社の新たな課題でもある。</p>	

写真・イラスト等

